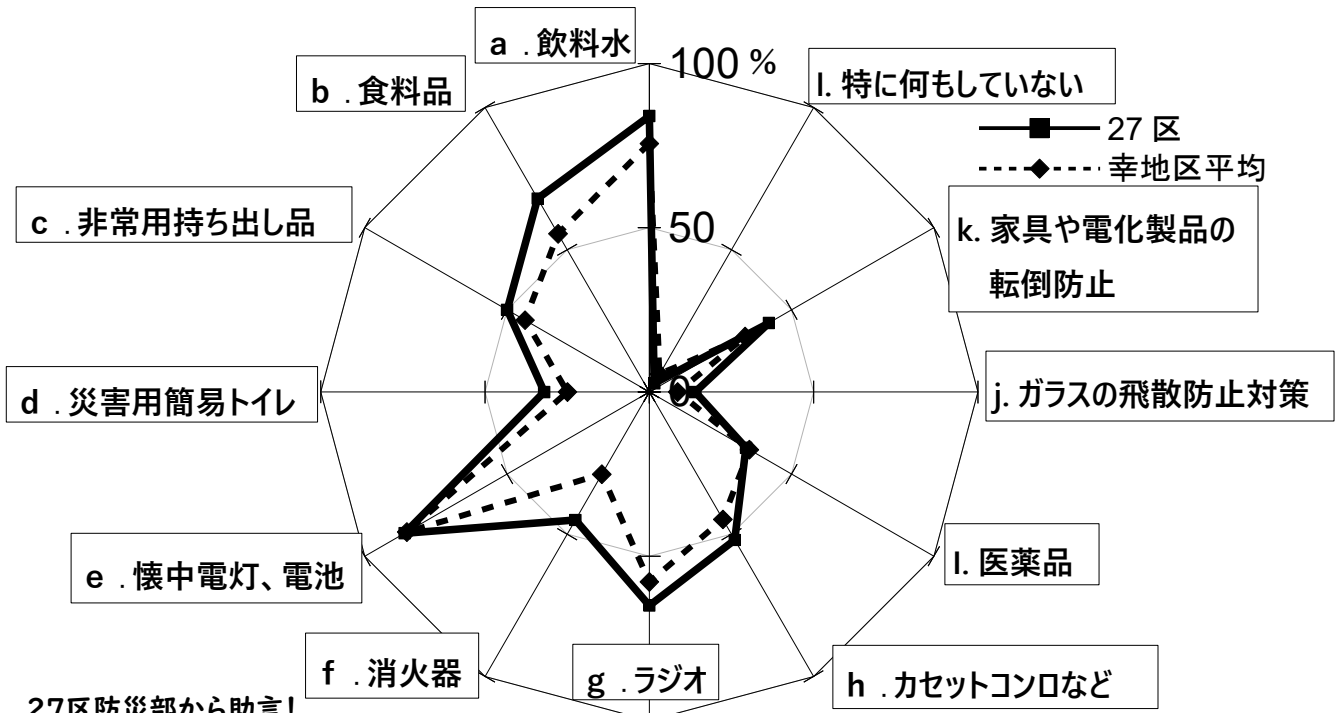


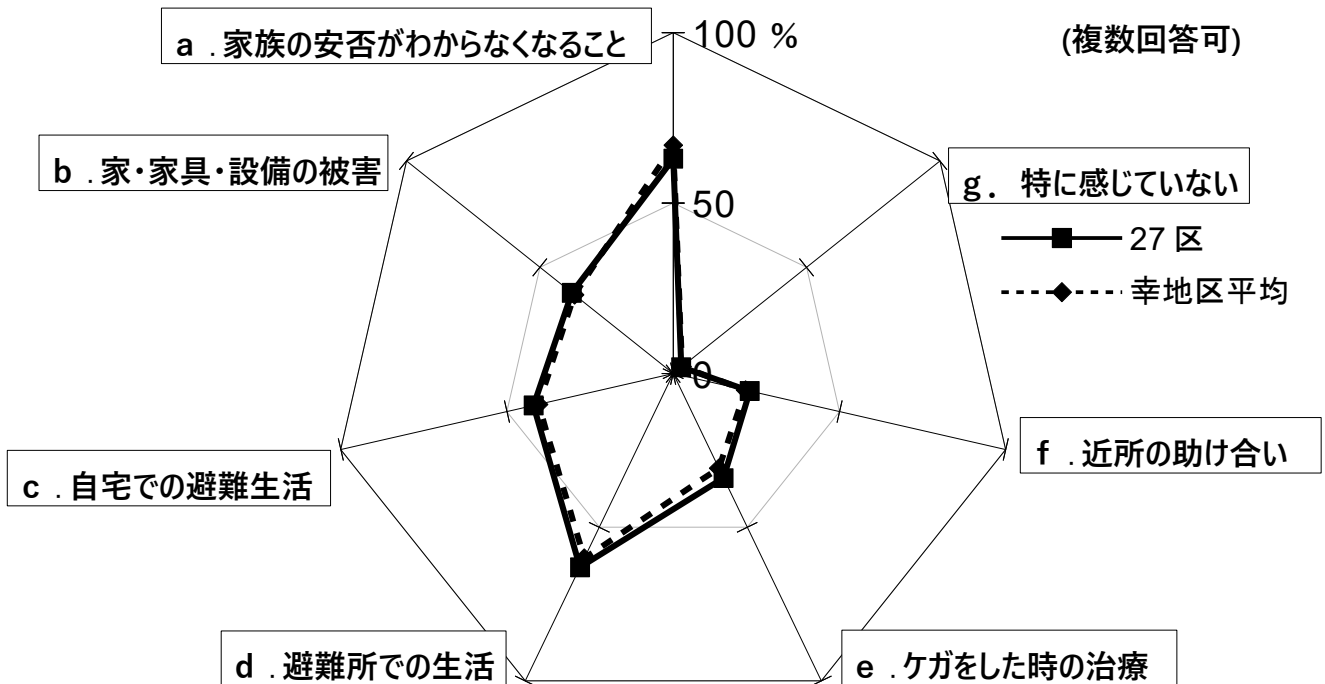
設問(1) あなたは、自宅でのどのような減災対策および備蓄をしていますか？(複数回答可)



27区防災部から助言!

27区は、本アンケート(21区~27区)のアンケート調査の結果から、設問1、でもわかるように他地区に比べ防災意識の関心度が高く見える。これは、一概に区民の皆さまの地震に対する意識高揚が図られている結果ではないかと思えます。しかしながら、冒頭でも言われている家具の転倒、落下防止、ガラス飛散防止が27区も、50%以下であり、まだまだ人的災害のポテンシャルが存在しています。このことから、(家具の転倒、落下防止、ガラス飛散防止)・(設問2-b 家・家具・設備の被害)に対する対策が、重要と思われます。

設問(2) あなたは、今後、大きな災害が発生した場合、どのような点について不安を感じますか？

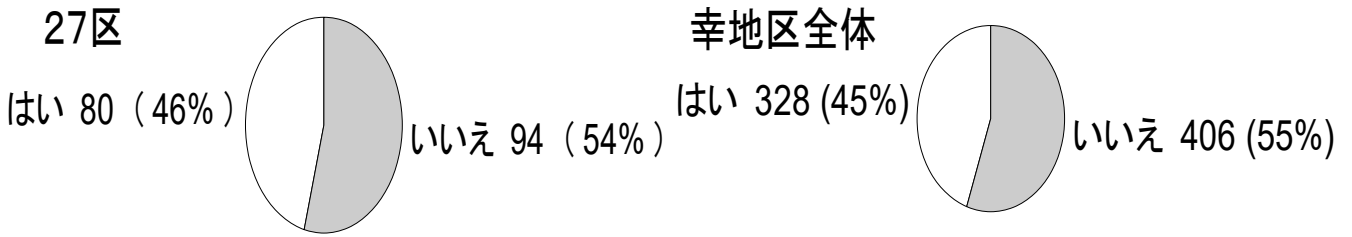


災害発生時の不安に関しまして

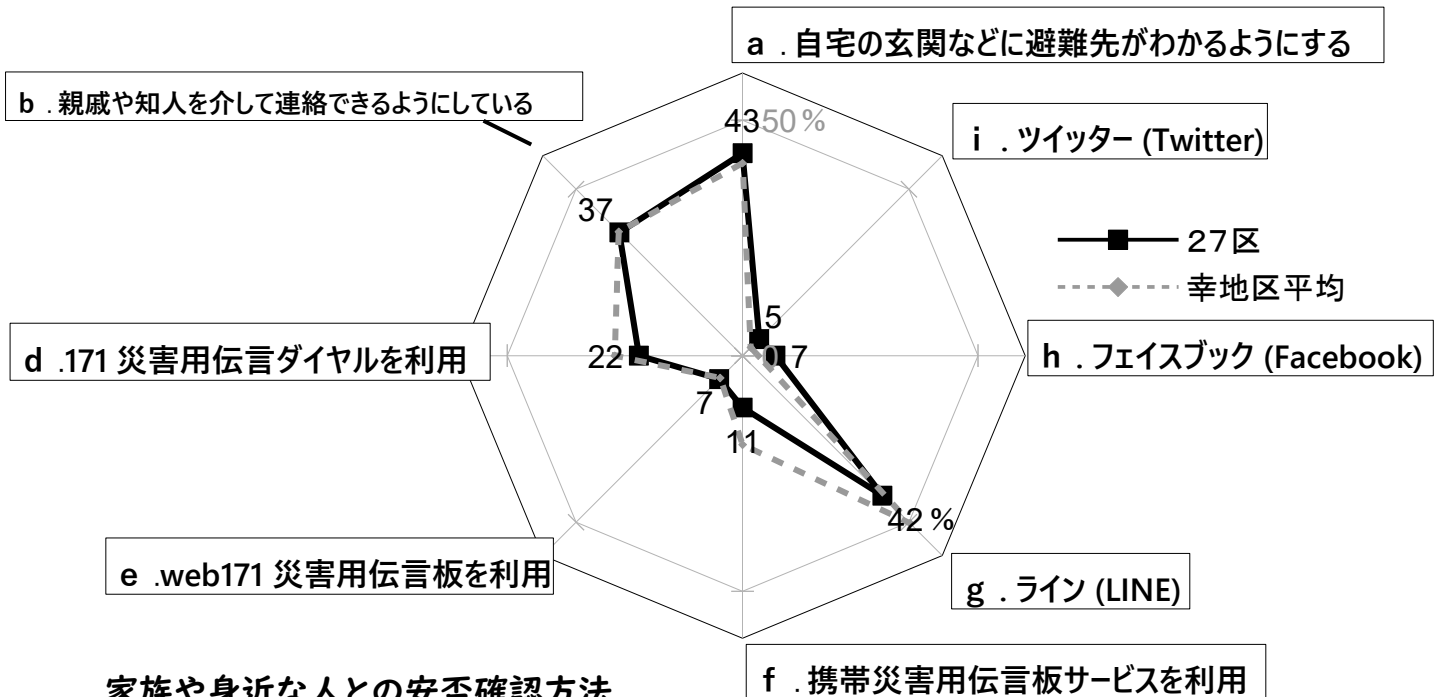
(家族の安否確認方法が不安)の件数が多い。このことから、日ごろから家族の行動、連絡方法、手段など家族会議を実施し情報の収集を密にしておくことが重要です。

避難所への避難に対し人とペットの避難場所の対応を具体的に市と詰めて行きます。

設問(3) あなたは、家族や身近な人との安否確認方法を決めていますか？



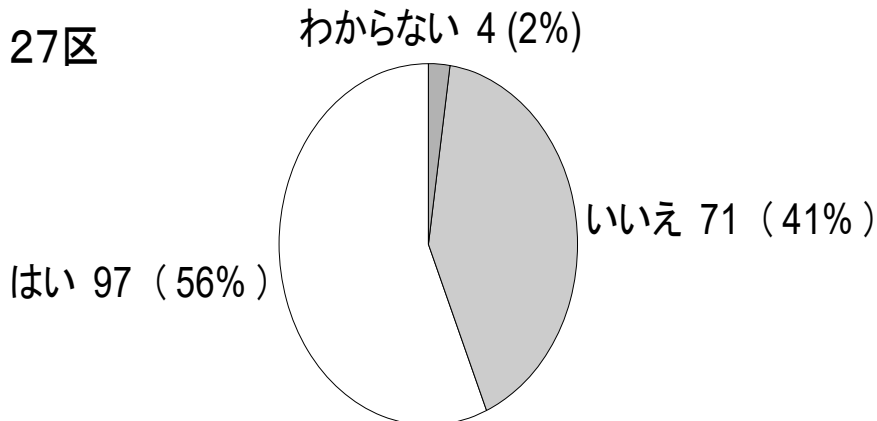
設問(4) 設問(3)で“はい”と回答の方、それはどのような安否確認方法ですか？



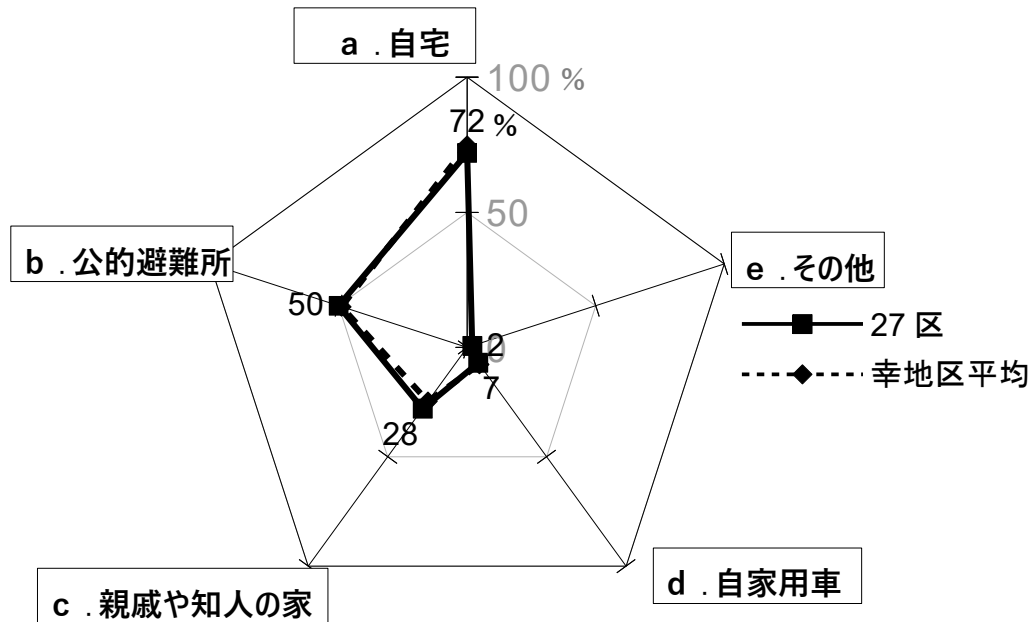
家族や身近な人との安否確認方法

27区は、親戚および知人との関係は、密に見えます。その連絡方法はライン (Line) ・フェイスブック (Facebook) を利用している方が多いように見えます。しかし、Web171 災害伝言板並びに携帯災害伝言板の有効活用も利用強化をして行ったら良いと思います。

設問(5) あなたのお住まいは、1981年耐震基準（昭和56年6月1日）以降に建築された家ですか？



設問(6) あなたは、被災した後、どこで生活することを想定していますか？(複数回答可)



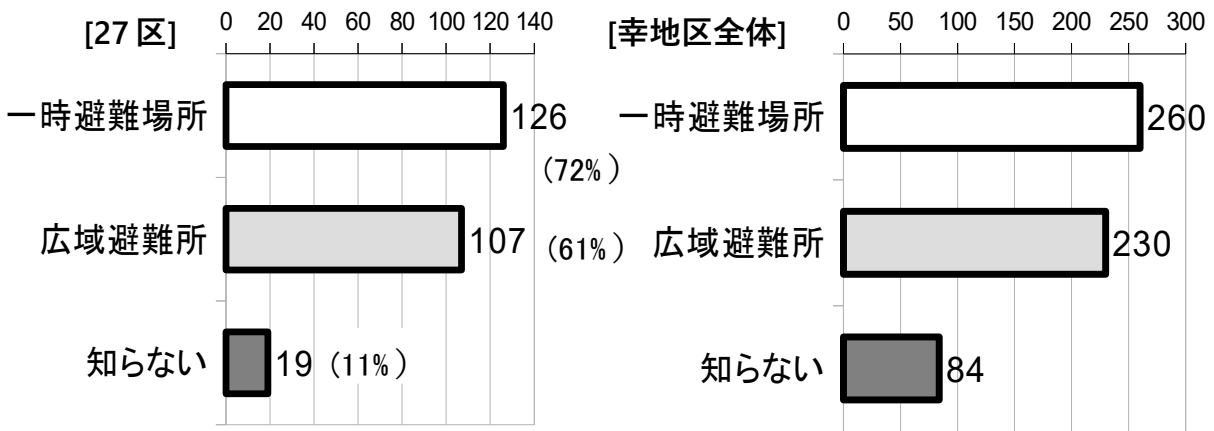
被災の程度で家屋が半壊/全壊により、その後の判断は異なると思われます。

隣接するお隣さん、近所の自助/共助により、生活が可能であれば自宅生活が可能です。

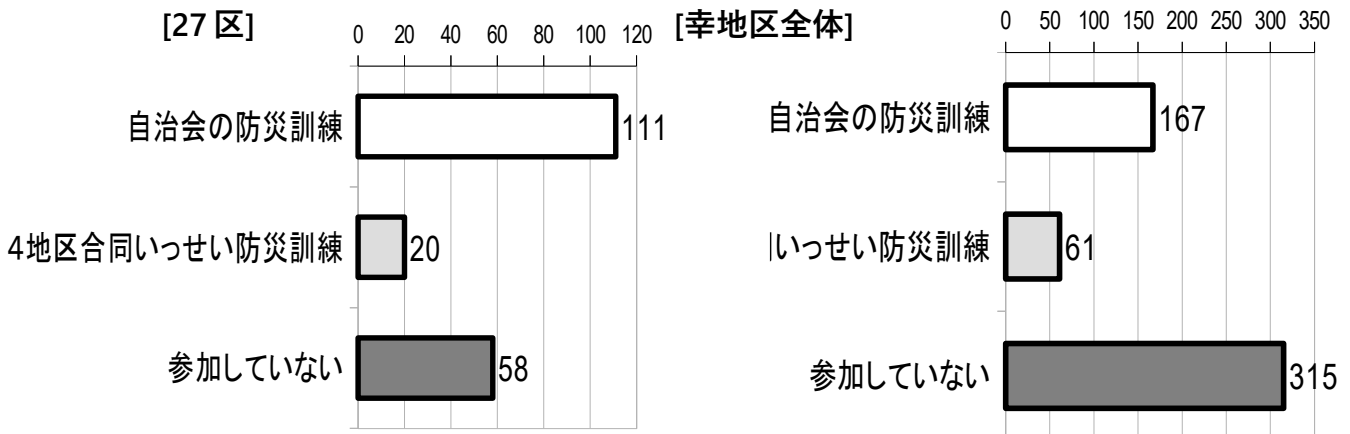
なお、27区自治会防災部および自ブロック長との連絡を密にし被災後の生活をしてください。

27区自治会防災部は、日ごろ(災害正常時)から自治会役員/防災部役員/各ブロック長/他による、町内災害ポテンシャルの抽出(防災パトロール)を実施し、被災発生時の被害を最小限にすることに従事しております。各ご家庭におかれましても、さらなるご理解とご協力をお願いします。

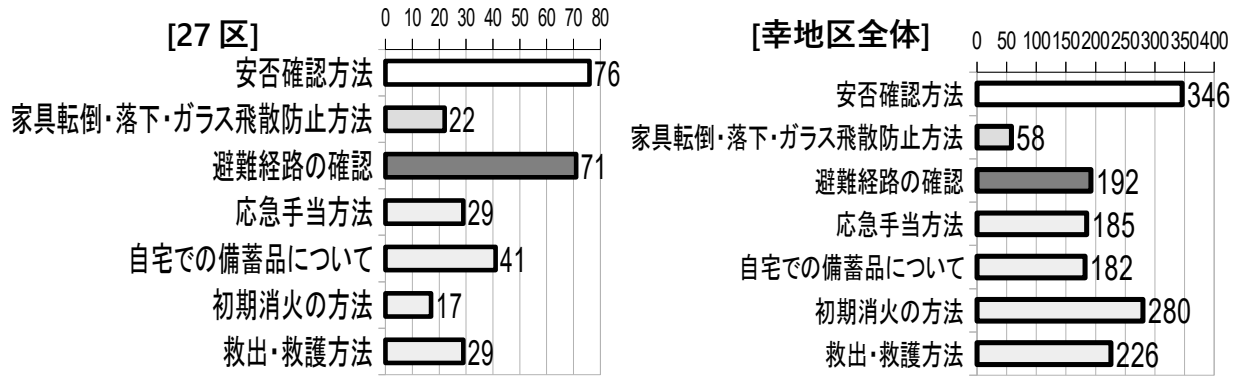
設問(7) あなたは、この地区の避難先をご存知ですか？(複数回答可)



設問(8) あなたは、昨年どんな防災訓練に参加しましたか？(複数回答可)

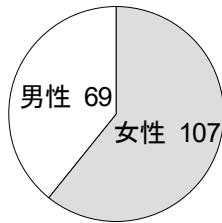


設問(9) あなたは、今後どのような防災訓練を実施して欲しいですか？(複数回答可)

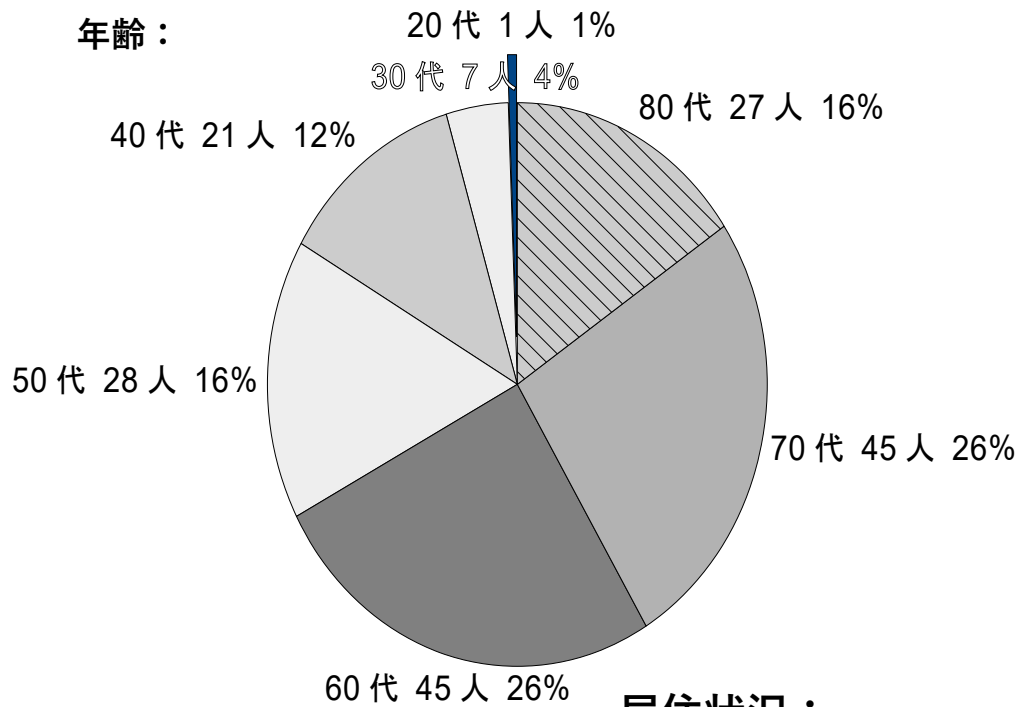


設問(10) 回答された27区の方について教えてください

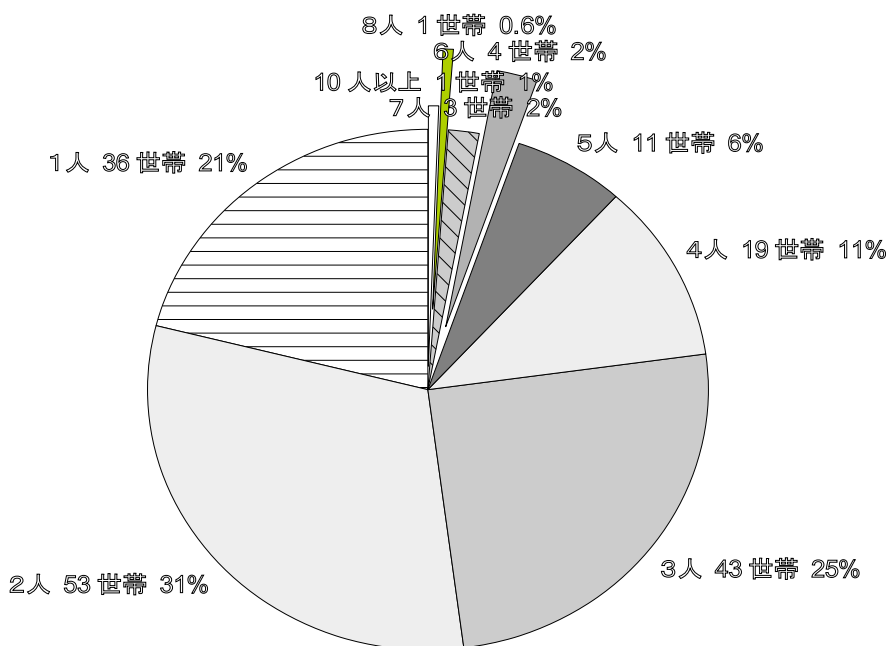
性別：



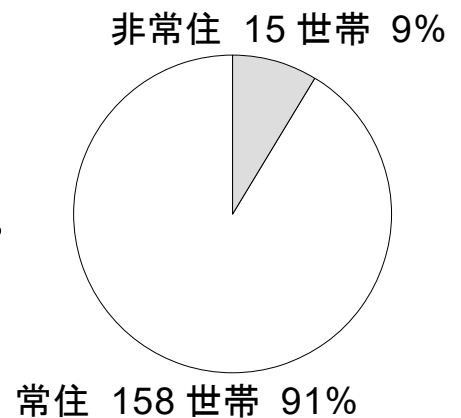
年齢：



世帯人数：



居住状況：



	合計
世帯数	257
回答数	176
回収率	68%

